

## Career Interview

行政評価局総括評価監視調査官  
(復興、国土交通)

# 今井 恵美子

IMAI EMIKO

平成 7年 4月 総務庁採用  
東北管区行政監察局  
平成 8年 4月 総務庁行政監察局(定期調査)  
平成 10年 10月 岩手行政監察事務所地方副監察官  
平成 12年 4月 行政監察局(定期調査)  
平成 13年 1月 総務省行政評価局(独立行政法人)  
平成 15年 4月 行政評価局評価監視調査官(内閣、総務、法務)  
平成 17年 3月 育児休業  
平成 18年 4月 行政評価局評価監視調査官  
(内閣、総務、厚生労働、防衛)  
平成 21年 4月 大臣官房政策評価広報課情報公開渉外第一係長  
平成 21年 10月 行政評価局評価監視調査官  
(内閣、総務、厚生労働、防衛)  
平成 24年 9月 行政評価局評価監視調査官(財務・経済産業等)  
平成 26年 5月 行政評価局総務課課長補佐  
平成 28年 4月 行政評価局評価監視調査官(復興、国土交通)  
平成 30年 4月 現職

## 現場主義で 行政課題と向き合う



### 【今、そしてこれから】

#### 新たな課題に直面

最近、被災者支援に関する調査に携わりました。日本は毎年のように大きな災害に見舞われ、家を失い、平穏だった日常生活に変化を余儀なくされる方が多くいらっしゃいます。調査の中では、このような方への支援を行う行政や民間団体の方などにヒアリングし、被災後長い年月をかけてもなお、生活再建に課題を抱える人たちに自分は何ができるのか、自問自答しました。経験を経ても調査では新たな課題を突きつけられます。

### 【係長時代】

#### 生活スタイルの変化と共に仕事の仕方も変化

入庁して10年目に息子が産まれました。約1年の育児休業期間を経て職場に復帰してからは、それまでと仕事のスタイルがガラリと変わりました。職場に向かう電車の中で1日の業務の段取りについて考え、家に帰る電車の中では夕飯のメニューを考える毎日。この時期、介護保険制度や、児童虐待防止対策の調査などに携わりました。1日24時間では足りない日々でしたが、効率的な仕事の進め方を考える契機ともなりました。

### 【係員時代】

#### 仕事の面白さを体感

東北管区行政監察局(当時)で採用され、仙台市と盛岡市での勤務を経験しました。これらの地方勤務では漁港やダム、防災対策の現場に出向いた調査を行い、現場を歩くことの大切さを学びました。段差が大きかった避難経路が高齢者でも避難しやすいように改善されるなど、自分が携わった調査で把握した課題が少しずつ改善の方向に向かう経験をし、この業務にやりがいを感じました。

## Message

私は行政評価局での調査業務に長く携わってきましたが、新たな調査に携わるたびに、行政職員だけでなく、専門家や企業、草の根で活動している方々など様々な分野で活躍されている人たちの出会いがあります。また、その出会いを通じて、それぞれが向き合っている課題を行政としてどう解決に導くことができるのか考えさせられます。ぜひ皆さんも私たちと一緒に課題解決に向けた推進力になりませんか。